

戦車部隊の新隊員が後期課程教育を修了



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は10月9日（金）、陸上自衛隊駒門駐屯地（御殿場市）で行われた機甲教導連隊の新隊員後期課程教育修了式を取材した。

7月から戦車部隊の隊員となるべく専門的な知識や技術を学んできた16人は、この日、無事後期課程教育の修了式を迎えた。

修了式では、教育隊長賞のほか、学科、射撃、体力において優秀な成績を修めた隊員が表彰され、同連隊副連隊長から表彰状が手渡された。

副連隊長は式の中で、「ここでの教育は出発点。それぞれの部隊では、教育で触れなかった装備も扱うことになる。これからも機甲科隊員として頑張ってもらい、自衛官として歩み始めた新隊員たちに温かなエールを送った。

式終了後、凛々しい表情だった新隊員たちにも笑顔が戻り、最後は教官も交えて和気あいあいと記念撮影を行い、ここでの思い出を写真に収めていた。

隊員は今後、同連隊をはじめとした各部隊に配属され、機甲科隊員として技術を磨いていく。

静岡地本は、今後も各部隊と協力して自衛隊のさまざまな姿をPRし、県民の理解促進に努めていく。

フルーツパークで中部航空音楽隊とともに自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は10月1日（日）、はままつフルーツパーク時之栖（浜松市）のエントランスゲート広場で、航空自衛隊中部航空音楽隊とともに自衛隊の広報イベントを行った。

当日は秋晴れに恵まれ、事前告知がなかったにも関わらず、約1900人の来場者が訪れる盛況ぶりであった。

音楽隊の演奏会は午前と午後1回ずつ行われ、看板やのぼり旗、音楽隊の司会者が3密防止を呼びかけるなどとして、演奏に臨んだ。

コロナ禍で今年度初の演奏会となった同音楽隊は、家族連れが多いことから子供に人気のアニソンやブルーインパルスのテーマ曲「ドルフィン・イン・ザ・スカイ」などを演奏し、来園者の心を掴んだ。

一方、静岡地本は音楽隊のステージ両側に広報ブースを設置。自衛隊の仕事紹介や、浜北募集案内が発行している「はほあ新聞」の掲示、静岡地本マスコットキャラクター「しずほん」パネルとの記念撮影コーナーを設けた。10月のハロウィンに合わせてブースもハロウィンの飾りで装飾し、子供たちの心をくすぐるような企画として、陸・海・空自衛隊のめりえをプレゼントした。

静岡地本は、今後も地域の方々へ自衛隊の魅力を広報し、理解と信頼を得られるよう、新しい生活様式を踏まえながらイベント等に積極的に臨んでいく。